

1 さあ、家庭学習を毎日がんばろう！

- 1 いちねんせいは10ぷんいじょう、にねんせいは20～30ぷんいじょう、じぶんからすすんでやろう！
 - 2 しゅうちゅうして、ていねいにかこう。
 - 3 がっぴとようびをかき、ノートをたいせつにつかおう！
 - 4 ノートのつかいかたをくふうして、いろいろなべんきょうにチャレンジしよう。
- ※ べんきょうしたら、ふりかえりをしよう。
※ やりおわったら、かならずおうちのひとに みてもらおう。

**2 きょうかのがくしゅう****こくごのがくしゅう****1 おんどく (こえをだして よみましょう。)**

- (1) いま、べんきょうしているところを すらすらよめるように おんどくする。
- (2) いえのひとに きいてもらい、おんどくカードに よんだしるしをつけてもらう。

2 かんじのれんしゅう (ドリルやきょうかしよをみて)

- (1) かんじのかたちに きをつけてかく。
- (2) かんじをつかった ことばや ぶんをかく。
- (3) かんじを ただしい ひつじゅんでかく。
- (4) かんじの なりたちをしる。

**3 ことばあつめ**

- (1) しりとり (りす→すすめ→めだか→からす…など)
- (2) のばすことば (トーマス・ゴールなど)
- (3) ちいさい「や・ゆ・よ・つ」のはいったことば (しゃしん、きゅうり、ちょうちん、かっぱ など)
- (4) なかまのことば (トラック、バス、クレーン車〈車のなかま〉など)

4 かたかなれんしゅう

- (1) かたかなのかたちに きをつけてかく。
- (2) かたかなの ことばあつめ

5 そのた

- (1) 「は、へ、を」をつかった ぶんづくり
- (2) 「 」をただしくつかった ぶんづくり
- (2) きょうかしよのししや
- (3) どくしよ (1にち10ぷんいじょう)
 - ・えほんや ものがたりなど いろいろなしゅるいの ほんをよむ。
 - ・いつでもよめるように、ほんを1さつ かりておく。
 - ・おきにいりのほんを くりかえし よむ。



さんすうのがくしゅう

- (1) けいさんれんしゅう (ドリルやきょうかしょをみて)
- (2) もんだいづくり (じぶんでおはなしもんだいをつくってとく)
- (2) かたちのもんだい
- (3) おおきなかずのもんだい
- (4) とけいのもんだい
- (5) たしざんやひきざんのれんしゅう
- (6) 九九のあんしょう (2年生)



※おうちのひとにまるをつけてもらいましょう。

につき・さくぶん

- (1) あそんだこと きょうじのこと がっこうのこと (たべたこと みたこと かんじたこと) おてつだいしたこと きいたこと などをかく。
 - (2) め て みみ はな くち ところ など からだの いろいろなところを はたらかせてかく。
 - (3) ならったかんじ や かたかなを つかって ぶんをかく。
- ※さくぶんのかきかた (げんこうようしの つかいかた)

と		「	近	元	す	○	ち	○			
、	か	九	所	氣	る	そ	ゃ	お			
い	ら	十	の	に	の	う	ん	母			
つ	の	の	お	や	は	じ	が	さ			大
も	わ	お	ば	っ	、	を	い	ん			事
言	た	ば	さ	て	ひ	し	ま	の			な
っ	し	あ	ん	い	い	た	す	の			ひ
て	た	ち	ち	ま	お	り	。わ	実			い
い	ち	や	も	す	ば	、	た	家			お
ま	も	ん	が	だ	あ	せ	し	に			ば
す	が	あ	ん	か	ち	ん	が	は			あ
	ん	あ	な	ら	ん	た	行	九			ち
	ば	な		、	の	く	く	十			ゃ
	ら	に			お	と	と	才			ん
	な	元			ば	、	、	の			犬
	く	氣			あ	ひ	わ	ひ			塚
	ち	な			さ	い	た	お			祐
	ゃ	ん			ん	だ	し	ば			子
	ね	だ			も	り	が	あ			○
	。だ	も			日		行	○			

- 題名は、上を2～3マスあけて書き始めます。
- 名前は、下が1～2マスあくように書きます。また、名字と名前の間は1マスあけます。
- 句読点(「。」や「、」)は、文字と同じように、1マスに1つ書きます。
- 句読点は、行のはじめに書くことはできません。
- 句読点が行の最後にきて下にマス目がない場合には、最後のマス目に文字といっしょに書きます。または、欄外に書いてもかまいません。
- 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は、ふつうの文字と同じように、1マスに1文字書きます。位置は、マス目の右上です。
- 会話文は、かぎかっこ(「 」)を用いて書きます。会話文の終わりの句点(。)とかぎかっこ(」)は、1つのマス目に書きます。
- 会話文の書き始めは、行を変えます。
- 会話文のあとに続ける文は、行を変えて書きます。それが段落の変わりめでない場合は、上を1マスあける必要はありません。

○しっかりがくしゅうできたか ぶりかえってみましょう。

○じかんわりを たしかめて あしたのじゅんびをしましょう。(きょうかしょは? ノートは?)

○えんぴつは、けずりましたか? けしゴムはきれいですか?